

別記第1号様式(第7関係)

## 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		令和2年度 第4回教育に関する事務の点検・評価委員会
事務局(担当課)		庶務課
開催日時		令和3年1月27日(水) 午前11時～12時
開催場所		豊島区役所 教育委員会室(本庁舎8階)
議 題		(1) 評価結果報告 (2) その他
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開      傍聴人数 0 人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	細谷 美明 木村 文香 岩井 由美子(敬称略)
	その他	教育長、教育部長、学務課長、学校施設課長、指導課長、教育センター長
	事務局	庶務課長

## 審 議 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
<p>細谷委員長</p> <p>副島庶務課長</p> <p>細谷委員長</p>	<p>【開会】</p> <p>ただ今より、「第4回教育に関する事務の点検・評価委員会」を開会します。 まず、事務局より、本日の傍聴について報告をお願いします。</p> <p>はい。本日の傍聴希望者はありません。</p> <p>それでは、議事に入ります。 本日は、これまでの審議に基づいた評価の結果を報告したいと思います。</p> <p>お手元の教育に関する事務の点検・評価の評価結果ですが、私から事業ごとにコメントを述べていきたいと思えます。</p> <p>まず「教員の研修」です。資料の8ページをご覧ください。評価結果は表に記載のとおりですが、この事業は非常に機能的で洗練された研修体系であって、その内容・方法も工夫がされていると感じました。さらに昨年度、国レベルで話題になりましたが、「教員の働き方改革」という視点も配慮されていると思えます。一方で、ICTの活用や外国人児童・生徒への対応という点では、豊島区がこれから抱えていくであろう教育課題に、この研修体系がどの程度成果を発揮していくかという部分が未知数の部分があるということから、評価については、有効性A・効率性Bといたしました。</p> <p>続きまして、不登校対策事業です。11ページをご覧ください。 豊島区の場合、「学校復帰」ということを唯一無二の目標としていない点、また子供の状況を見ながら無理のない範囲でのレベルアップを図っていくという考え方や方向性が、実際に不登校である子どもたちや保護者に大きな安心感を与えるのではないかと、さらに多くの専門スタッフが彼らを支援しているという態勢が非常に評価できると考える。学校との連携体制もよく整備されているという。これらの運営面においては、まだ始まったばかりのシステムということもあって、特に不登校支援シート等の活用において、学校の先生方との役割分担を明確にし、学校との連携を意識した対応をお願いしたいという意味をこめて、効率性はA、有効性はBと評価しました。</p> <p>次に「外国人の就学対策」です。14ページをご覧ください。 急増する外国人の児童・生徒に対して、きめ細やかな調査や他部局との連携によって、就学機会の確保を高めているということは、これは大変評価できるのではないかと、保護者への相談体制など、これまで見逃しがちであった部分も、しっかり充実してきていて、評価できるのではないかとという声がありました。一方で、近年、豊島区の外国人の国政気が多様化してきているということもあって、区のホームページやパンフレット類もその多様性に追いついていないのではないかと指摘もありました。さらに学校の先生方が、まだ日本語ができない子どもや保護者に対して、通訳が不足していることで、非常に苦慮しているという事実も挙げられました。今後は即時対応可能な翻訳ソフトや区の広報活動の中</p>

で多言語化に対応できるような対応をしてほしいという願いをこめて、効率性・有効性ともBとしました。

次に、「子どもスキップ事業」についてです。17 ページをご覧ください。こちらは、実際に南池袋小学校と子どもスキップ南池袋の視察をいたしました。ここでは、運営という点でうまく機能しているということがわかりました。偶然だったのですが、「子ども会議」を行っているところを見ることができまして、スキルの高い職員が組織として子ども指導を効率的に行っているところを実際に見ることが出来ました。事故対応や保護者への対応、子どもの遊びなど、その対応についてまだ工夫していく余地がある、預ける親にとっては安心・安全な居場所という信頼感を与えるためにも、職員間の研修などを充実させていって欲しいという期待をこめて、効率性A・有効性をBとしました。

「学校施設設備の補助金」についてです。19 ページの下段をご覧ください。

これも実際に視察させさせていただきましたが、国からの補助金ということで、予算上の制約がある中で非常に計画的に合理的な予算執行がされているのではないかと感じました。特に、体育館の冷暖房施設や災害時における対応など、うまく使われているということで、効率性・有効性ともAとしました。

最後となりますが、これまでの審議を経た上ですが、長年色んな教育委員会を渡り歩いてまいりましたが、豊島区は、実際の自分たちの区の状況や子ども達の状況を良く理解した上で、限られた予算の中で上手にかつ、区民によって意義のある施策を展開しているといった感想を持ちました。一方で、色々と課題もありまして、委員の合議を経て、このような評価といたしました。私自身、大変勉強となる委員会でした。改めまして、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

それでは、各委員からもコメントをいただければと思います。では、最初に木村委員お願いいたします。

木村委員

私のほうからは、一つ一つの事業については委員長からお話がございましたので全体的なところをお話させていただきます。

新型コロナウイルスによるこのような状況の中で、委員のお仕事を受けさせていただき、各事業の説明を聞く中で非常に思ったことが、この無理やり変えざるを得ない状況は、むしろ色んなことを変えることができる状況なのかもしれないと思いました。理由といたしましては、変えざるを得ないため、柔軟にかつスピーディーに変えていращやる、その柔軟性の高さは、全ての事業に共通に感じました。そのため、変えざるを得ない状況は、むしろ今まで変えづらかったものを変えられるのではないかと感じました。例えば、「外国人の就学対策」では、言語に対応すること限界に対して、それを限界ではない形で捉えてくれるのが豊島区ではないかと感じました。そういった変えやすい時期の中で、柔軟に対応している、そして、説明のほか、実際に学校に足を運んで、柔軟にかつ、スピーディーに変える体制だなと感じました。どうしても文章となると、課題という表現になりますが、私は期待とか応援というふうなもののかなと考えております。もちろん、変えていったほうが良い部分や変えなければいけない部分もありますが、子どもや地域への愛、熱

	<p>意は変えなくとも良い部分としてしっかり感じることができましたので、そういったものが反映された評価になっているのではないかと私自身は思っております。</p> <p>最後になりますが、この話いただいたとき、教育や学校の研究をしている立場として、そういった視点から物事を考えたり、お話をしていくことが求められているのかなと感じておりましたが、実際考えるときには、子ども達の視点であったり、教員の視点も持たなければいけないとも感じました。もう一つ、個人的にすごく考えたことが、これから教員として学校に入っていく人達、それから地域で生活者として入っていく人達、普段大学生を教えている中で、その人達を送り出すときに、どんな学校・地域だったらいいのかなということをしごく考えました。そう思ったときに、学校や教育という場は色々な視点を求められる、まさに学校はみんなのものであり、コミュニティの中心だなと改めて感じました。本当に勉強になりましたし、色々考える機会になって、素敵な機会となりました。ありがとうございました。</p>
細谷委員長	<p>続きまして、岩井委員お願いいたします。</p>
岩井委員	<p>私自身が大変勉強させていただく機会となりました。どの事業についても、多くの人々、組織に守られて、力を尽くしていただいていることを改めて感謝するとともに、一区民として理解、学ばせていただいたことを現場に持ち帰り、子ども達を支え、応援していきたいと思えます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。</p>
細谷委員長	<p>両委員、ありがとうございました。 それでは、報告書を教育長にお渡ししたいと思います。</p> <p><b>【写真撮影】</b></p>
細谷委員長	<p>最後に教育長よりコメントをいただきたいと思えます。</p>
金子教育長	<p>一言、お礼と今後の決意を述べさせていただきます。</p> <p>まずは、新型コロナウイルスのこの状況下の中で、委員をお引き受けくださりありがとうございます。4回にわたり、熱心な観察とご議論、本当にありがとうございました。</p> <p>当然ながら課題として挙がっている部分は真正面から受け止めさせていただきます。その内容は、そのとおりの、やらなければいけないなと感じるところばかりですので、今後、やらなければいけないことが明確になりまして、こういう評価があつてよかったと考えております。全体として、及第点をもらえたなと安心すると同時に、まだまだやることあるなとそれも嬉しく、ご指摘をありがたく受け止めさせていただきます。</p> <p>改めまして、4回にわたり、本当にありがとうございました。</p>

細谷委員長	金子教育長、ありがとうございました。 以上を持ちまして、第4回教育に関する事務の点検・評価委員会を閉会いたします。ありがとうございました。 —— 閉 会 ——
-------	---------------------------------------------------------------------------------------

提出された資料等	【資料】令和2年度 教育に関する事務の点検・評価結果報告書
----------	-------------------------------